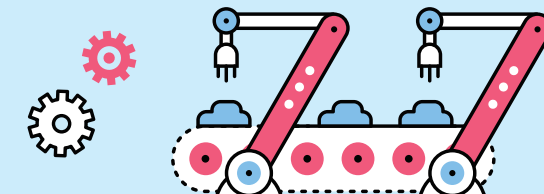


広告



お訪ねした会社

社名：株式会社桃太郎部品
 住所：岡山県岡山市北区
 WEB: <https://momo-parts.jp/>

使われなくなったクルマを引き取って、解体する工場を運営しているよ。地域活動をする人たちに会社の会議室を開放するなど、地元の方々との交流も盛んに行っているんだって！

こちらに伺いました！



使える部品を再利用!

クルマのリサイクルの流れ



金属類は原材料にもどしてさまざまな製品に使われます。残ったシュレッダーダスト(プラスチックやゴムなど)は、ユーザーが支払ったリサイクル料金を使ってさらに原材料にもどしたり、熱源として再利用されます。

天然資源の使用を少なくしたり、リサイクルのしやすさを意識した車がつくられています。

車を買うとき、リサイクル料金を支払います。



人やモノを運ぶ自動車は、私たちの生活に欠かせないものだけれど、使いつづけたら後にはどうなっているのか、知っているかな? 実は使用済み自動車の99% (車両重量でみた場合) はリサイクルされているんだ! そこで、クルマに関わる人たちのさまざまな努力と工夫を紹介する「クルマのリサイクル」シリーズを、今回から7回にわたってお届けするよ。

「解体工場」にやってきたよ。役割を終えたクルマにも、まだ使える部品はたくさんある。状態がいい部品を取り外してきれいにすれば、交換用として活用できるんだ。自動車のリサイクルと一緒に、工場の中を見に行こう!

見て・聞いて・学ぼう!

地球のために! 未来のために! フルマの再利用サイクル

プラスチックもリサイクル

クルマの内装には、たくさんのプラスチックが使われている。それらを細かく砕けば、燃料や新しいプラスチック製品の素材として再利用できるんだ。桃太郎部品の工場では、手作業で丁寧に分別したプラスチックを、専用の機械でチップ状に加工していたよ。



専用の装置でプラスチックを細かく砕く!

捨ててしまったらもったいない!



▲部品の見極めには知識と経験が必要

桃太郎部品に自動車を持つと、ちまたと比べると、知識と経験を持った社員さんがすみずみまで検査し、「まだ使えるの部品の見極め」をしてくれる。

ステップ2 「まだ使える!」部品の再利用

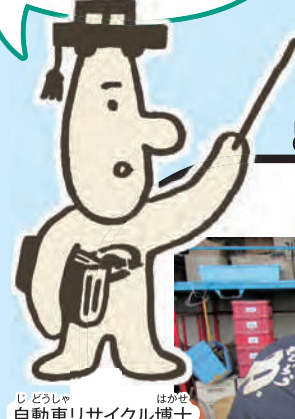


▲部品がたくさん詰まった外国行きのコンテナ

そして、取り外した部品をきれいに清掃した上で、交換用として販売するんだ。このように部品を「リサイクル部品」と呼ぶよ。

リサイクル部品を使えば、資源を有効活用することになる。その上、ユーザーが買うときの値段も新品より安いから、いいことづくめ! また、日本のクルマに使われている部品は、とても丈夫で高性能だから、海外の買い手向けに輸出することも多いんだって。

安全な作業と環境の保全



自動車リサイクル博士



① フロンガスを回収

まず最初に、自動車のエアコンに使われるフロンガスを、専用のポンペに回収するよ。このガスを大気中に放出してしまうと、オゾン層に穴を空けたり、地球温暖化につながる恐れがあるんだ。回収されたガスは、別の工場で無害化されるんだって。このフロンガスの正しい処理には、クルマのユーザーが支払った「リサイクル料金」が使われているよ。

ステップ1 「まずはこれ!」事前処理



② エアバッグの処理

エアバッグは、乗っている人を怪我から守ってくれるもの。解体工場では、専用の機械をクルマにつなぎ、破裂させて取り外すんだ。「ボン!」という大きな音がしていたよ! また、フロンガスと同様に、エアバッグの正しい処理にも「リサイクル料金」が使われているんだ。



③ 燃料等の抜き取り

解体工場に引き取られたクルマの中には、ガソリンや軽油等が残っていることもある。万一この燃料に火がついたら大変! 火災が起きないように、車体の下側からタンクに直接穴を空けて、中の燃料を回収しておくよ。

巨大な重機が大活躍!



▲重たい車体を持ち上げて、ボキリ!

再利用できる部品を取り外した後の車体は、その後のリサイクル工程のために、部品ごとに分けておく必要がある。そこで活躍するのが、ベンチのようなアームを持った重機「ニブラ」! ドアやボンネットなどを器用につかんで、どんどん解体していくよ。こうして小さくなった車体は、鉄やアルミなどの資源を素材ごとに分別・回収する「破碎工場」へと運ばれるんだ。

ステップ3 「達人の技で!」車体を解体

次回は破碎工場編!



今回のまとめ

解体工場に引き取られたクルマは、まずフロンやエアバッグ、燃料を適切に処理されていた。そして、まだ使える部品を取り外し、リサイクル部品として再利用しているんだね。部品を取った後の車体は重機で解体され、金属などの資源を分別・回収する破碎工場へと送られるんだ。

第6回 クルマのリサイクル作品コンクール

「クルマのリサイクル」について学んだことを、標語・ポスターにして応募してみよう!!

標語・ポスター大募集!!

応募締め切り 2023年2/28(火)必着

